

第10回 ゲノム病理標準化講習会プログラム

期間:2021年7月1日(木)10:00 —2021年7月31日(土)23:59

オンデマンド講習会

1. 本講習の目的: ゲノム研究基盤整備における病理の役割 (講習会委員長金井挨拶にかえて) (20分)

2. 講義 (○はテキスト「ゲノム研究用・診療用病理組織検体取扱い規程(羊土社刊)」使用 / ●はハンドアウト使用)

1)

○ ゲノム研究用病理組織検体取扱い規程「第1部の解説:研究用病理組織検体の適切な採取部位」(30分)

九州大学医学部医学研究院 形態機能病理学 小田義直

2)

○ ゲノム研究用病理組織検体取扱い規程「第2部の解説:凍結組織検体採取・保管・移送方法」(60分)

慶應義塾大学医学部 病理学教室 金井弥栄

3)

○ ゲノム研究用病理組織検体取扱い規程

「第3部の解説:ホルマリン固定パラフィン包埋標本の適切な作製・保管方法」(40分)

慶應義塾大学医学部 病理学教室 金井弥栄

4)

● 病院病理診断部における研究用病理組織検体収集・管理の実際 (30分)

九州がんセンター 病理診断科 田口健一

5)

● 病理組織検体を収納する研究のためのバイオバンクの構築 (30分)

京都大学医学部附属病院・田附興風会医学研究所北野病院 鶴山竜昭

6)

● 病理組織検体を用いたがんゲノム研究の実際 (30分)

国立がん研究センター研究所ゲノム生物学研究分野 河野隆志

7)

● 病理組織検体を用いたがんエピゲノム・多層オミックス研究の実際 (30分)

慶應義塾大学医学部病理学教室 新井恵吏

8)

● 認定臨床検査技師の役割 (30分)

一般社団法人日本臨床衛生検査技師会 滝野 寿

*受講修了証は、講義の聴講ならびに小テストの完了をもって発行されます。必ず会期中に各自でダウンロードし、印刷するようにしてください。会期後のダウンロードはできません。